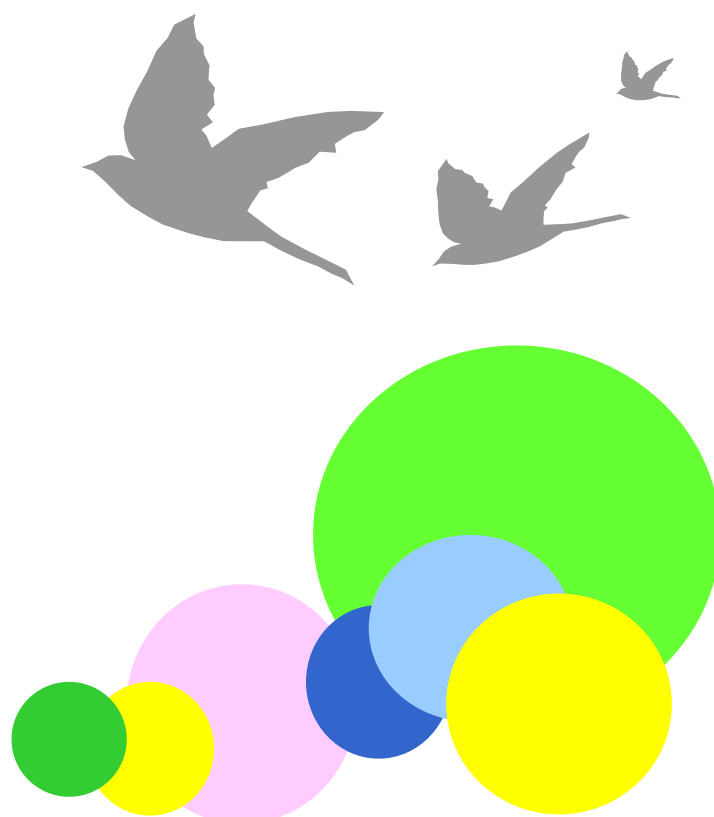


Membership Info.

ご案内

一般社団法人 保険者機能を推進する会

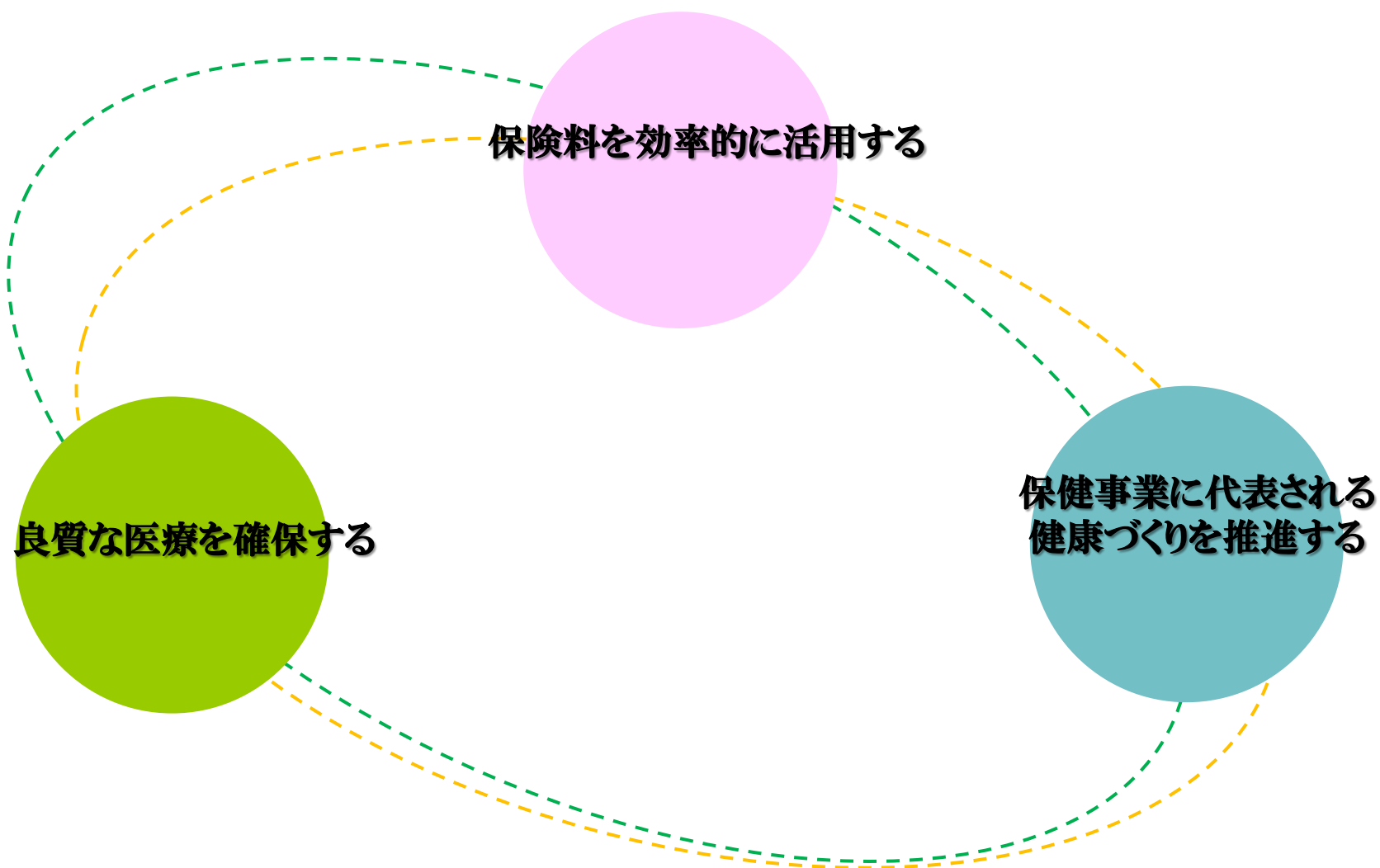




Purpose

目的

「保険者機能の原点」を追求します！



「保険者機能の原点」とは、被保険者・被扶養者のために上記三点に努めることであり、この実施・実現が保険者の使命です。
本会は、保険者自身が集い、参画し、この保険者の使命の実施・実現のため、保険者機能の研究とその具体的方策の実行を目的とします。

この考えにご賛同していただける健康保険組合様のご加入をお待ちしています。ぜひ、一緒に活動しませんか！

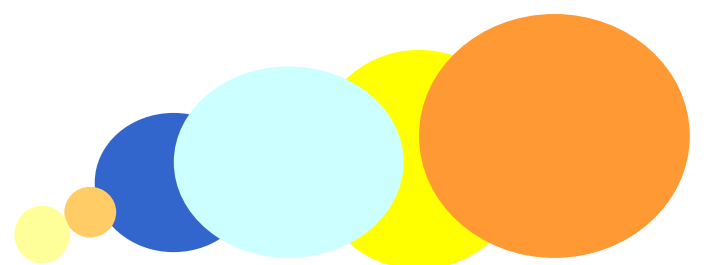
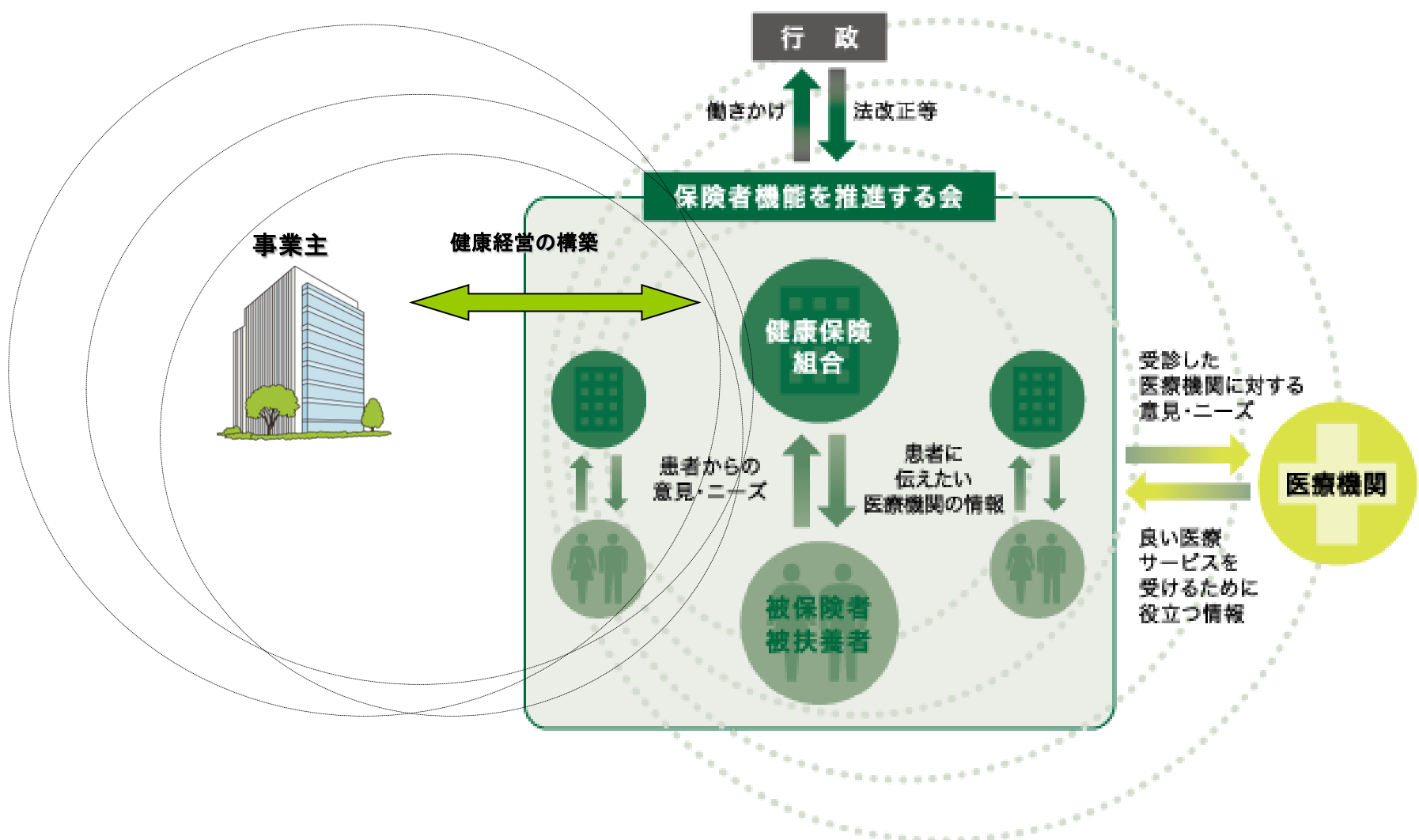


活動概要

- ◎健保の効果的な運営に向け、健康保険・保健事業などの情報共有
- ◎健保を取り巻くさまざまな課題に対しての研究・議論
- ◎関係機関への提案・提言
- ◎会員健保の幹部職員・一般職員の人財育成

少子高齢化社会の進行に伴う「医療保険改革」といった社会的課題に対し、政府をはじめ、経済界、労働界、研究機関、学識経験者などからさまざまな提案、提言がなされており、その多くが「保険者機能の強化」を強く求めています。

「保険者機能を推進する会」は、健康保険制度・健康保険組合を少しでも良くしたいという思いを持つ健康保険組合が「主体的に参画」し、保険者機能の強化に向け活動を行っています。





研究会活動

健康保険を取り巻く様々な課題のうち、自健保だけでは解決が難しいもの、協働することでより効果が見込めるものなどを持ち寄り、知恵を出し合って何らかの成果物を生み出す研究会活動を行っています。運営は自主性を重んじ参加者の中でリーダーを選出し、当該年度の目標成果物、活動方針を定めて、ほぼ1カ月に1回の頻度で集まっています。必要に応じて有識者や行政、健保連の担当者にもヒアリングを行い、情報レベルを高めています。2021年度の研究会テーマは以下のとおりです。

2021年度研究会テーマ一覧

【レセプト・健診データ分析研究会】

健保が保有する健診・レセプトデータの研究を通じて、分析手法を学び、保健事業の評価・効果検証に役立てることを目的とします。（※新型コロナの感染状況を踏まえて活動していきます）

- ①【全体テーマ】参加健保の健診データを同一の手法で分析し、単年・経年分析及び他健保比較から、自健保の特徴と課題を考察します。
- ②【グループテーマ】参加者の関心に応じて、グループ分けとテーマ設定を行い、研究結果を掘り下げていきます。過去のテーマは「特定保健指導」「保険者の強み弱み分析」「保健事業比較分析」「レセプト活用」「分析の見せ方」などです。
- ③東大の先生方（アドバイザー）によるレクチャーや、参加健保による事例発表から、保健事業の動向や良好な取組事例を学び、自健保の保健事業に役立てます。

【健診事業のあり方研究会】

本研究会は、健診項目や受診勧奨・事後フォロー等に関する理想的な健診事業のあり方を追求する研究会です。2019年度から「がん対策」に特化して取り組み、「職域におけるがん検診に関するマニュアル」（2018年3月厚生労働省）を基に健保として取り組むべき課題を整理しました。2020年度はその課題の中で優先度が高い「がん検診のメリットだけでなくデメリットを伝える」について、適切に実施できるよう「各健保が実施していること・これから実施したいこと」を共有しました。2021年度は昨年テーマに加え、2つ目の課題である「どうしたら適切な精度管理が実施できるか」について国立がん研究センター高橋先生のアドバイス受けつつ進めるとともに、併せて同センタープロジェクトへ参加し研究協力も行っています。

【特定保健指導応用研究会】

2021年度は、第3期特定健康診査等実施計画（2018-2023年）の4年目となります。2019年から、特定健診・特定保健指導の実施率や、後期高齢者支援金の減算対象健保名も公表されて、保険者の期待度も高まってきています。今後を見据えると特定保健指導に係る加減算も健保財政に影響を与える可能性があります。

当研究会は2020年度、コロナ禍下でも地道な運営を心掛けてきました。2021年度はそのような厳しい状況を前提にいかに成果が出せるかを考え、WEB開催の経験を踏まえた“他健保との情報交換”を最大限行う研究会を開催します。制度変更等の共有、委託業者や先行健保の講演、分科会による情報交換などの場を毎月提供し、特に、2020年度後半からの減算対象健保の活動・ノウハウの共有は、2021年度も継続していきます。

入会を検討される健保様には、研究会を見学していただくこともできます。

【女性の健康研究会】

性差を考えた女性の健康にフォーカスして、著名医師や専門家を招き、この会でしか聴けない目から鱗のセミナーを受講するなど、女性だけでなく、家族であり、仕事仲間である男性にも役立つ活動を行います。

2021年度は、今までの研究会の研究成果をしっかりと共有しつつ、著名医師・専門家・Femtecなどの専担事業などの情報を取り入れ、研究会の今後の活動の方向性を検討していきたい。

【シニアの健康研究会】

世の中のシニアの健康を増進するため、まずは自健保のシニアに対し効果的な健康施策を立案・実施し、ヘルスリテラシーが高く、心身共に健康なシニアとして地域保険へ送り出すことで、高齢者の医療費を適正化し、ひいては納付金等が健保財政に与える影響も最小限に抑えたいと考えます。

2021年度は被用者保険からは手の届きにくい「シニア被扶養者」を対象とした健康増進策についてトライアル実施し、できれば効果検証まで行います。コロナ禍の中、リアルな飲み会をオンラインへ切り替えて実施するなど前向きで明るく大変風通しの良い研究会です。たくさんの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【たばこ対策研究会】

改正健康増進法および東京都受動喫煙防止条例が全面施行されて早1年。「いやいや、それどころじゃあなかったよ？」と、2020年もあっというまに過ぎ去りました。その2020年、初めての遠隔活動環境下でも、本研究会では会員相互の情報交換、顧問先生による講義、事例発表及び共有など、多くの活動に取り組みました。この経験をもとに、2021年も引続き「能動喫煙・受動喫煙による健康被害の防止を図ること」「医療費の適正化を図ること」を目的に活動し、自健保に持ち帰られる成果を全員で得てゆく所存です。また日本禁煙科学会の「禁煙支援士」の認定試験への取組も継続してゆきます。

【療養費適正化研究会】

「療養費適正化研究会」では、『柔整・あはき・治療用装具』に関する療養費の適切な利用に向けて、メンバー個々の審査・点検のスキルアップを図り、かつ加入員への周知・教育をどのようにすればより効果をうむのか研究していきます。そのために各健保の様々な事例や悩みについて情報交換したり共有する場にしたいと考えています。また、昨年から動きのある柔整における償還払い導入(移行)等についても実務的問題等から、導入には何が課題かを検証する予定です。なお、柔整業者や装具業者とも意見交換の場を設けることを計画します。さらに出張が可能な段階になれば、延期となっている装具製作の見学会(勉強会)も再度計画する予定です。

【扶養認定基準研究会】

扶養認定は健康保険法及び通知・通達により判断基準が示されていますが、文書の曖昧さに加え多様化する社会への対応が十分ではないため、実際の認定審査で個々の健保組合が判断に迷うことも多いです。当研究会は他健保の認定可否や認定審査の方法などノウハウを共有することで自健保の認定審査に役立つ活動を行っています。また認定審査にて困った場合の相談窓口としての活動も行っています。一方健保連との協同活動として健保組合の実情を報告したり最新情報を頂いたり連携強化しています。

近年は扶養認定の枠を超え電子申請やオンライン資格確認、情報連携など適用業務全般の情報共有も行っています。

研究会活動は対面による会議を主体としていますがコロナ感染予防対策として2021年度に於いてもWeb会議を取り入れた活動を行います。

入会を検討される健保様には、研究会を見学していただくこともできます。



Communication/Symposium・Lecture・Study/

シンポジウム・講演会・研修会事業

1. 常務理事ゼミナール

常務理事ゼミナールは、「常務理事の皆さまが、自健保内で展開する各種事業における、“常務理事としての振る舞い”について、これまで以上に、より実践的な意見交換の場になるよう」という主旨で開催され、「コラボヘルスの実践」「データヘルスの実践」「保険者マネジメント」といったテーマを中心に、それぞれ具体的な取り組みについてグループ討議主体の意見交換等を行ってきました。

新任の常務理事の方も多数参加され、毎回活発な情報共有や意見交換が行われていますので、常務理事であればどなたでも気兼ねなくご参加いただけます。参加者の皆さまからも「同じ常務理事の立場での対応や具体的な進め方の情報・意見交換は参考になる！」という声も多く頂いています。気軽に話しあうことで何か課題解決につながるヒントが得られるかもしれません。

当ゼミナールは常務理事同士の意見交換が主体であり、これを機会に培ったネットワークが、日々の業務の課題解決の役に立ち、活動の充実にもつながっていくことと思います。ぜひ、多くの常務理事のみなさまの積極的なご参加をお待ちしております。



2. 医療保険制度ゼミナール

医療保険制度ゼミナールは2021年度で7年目を迎えた活動です。

当会の基本機能である「保険者機能を推進する」を軸に、厚労省・財務省、アカデミア・医療提供側・患者団体・メディア等々の保険者を取り巻くステークホルダーに講義をお願いし、それを通じバランス感覚を持って将来に提言ができる保険者を育てることを目指しています。常務理事・事務長・役職者等の健保マネジメントに携わる方を中心に、資料の事前読み込みを行って、予め課題をもって参加することを前提としています。また一方通行の講義ではなく、質疑・ディスカッションの時間を十分にもうけ、多面的な見方があることを実感できる形としています。

2020年度も多彩なステークホルダーを積極的に組み入れ、広くディスカッションすることで会員健保の提言につながる活動を計画しましたが、新型コロナの流行により、感染拡大防止の観点から活動を大幅に縮小し、1回のみのWeb開催を余儀なくされました。

・「柔道整復療養費をめぐる諸問題」(保険者)

2021年度も、新型コロナの流行状況が不透明な部分がありますが、従来の考え方を踏襲しつつ、Web方式なども取り入れながら会員健保の提言につながる活動を推進していきます。



3. 基礎知識研修会

基礎知識研修会では、主に一般職員の方を対象として、時節柄関心の高いテーマをその都度取り上げ開催しております。

またWEB形式での開催もできるようにし、遠方からの参加も容易になり、より情報収集しやすい環境が整いました。

2020年度はポピュレーションアプローチ研究会の成果発表として事例発表を中心に開催いたしました。

通年は年間に3～4回の開催を目標により身近な、よりご自身の業務に生かせる内容で、事例発表、各研究会の成果発表および専門家によるレクチャーなどを中心に開催していきます。





第9回 保険者機能推進全国大会

開催日:2021年11月24日(水)
Web会議(Zoom)にて実施

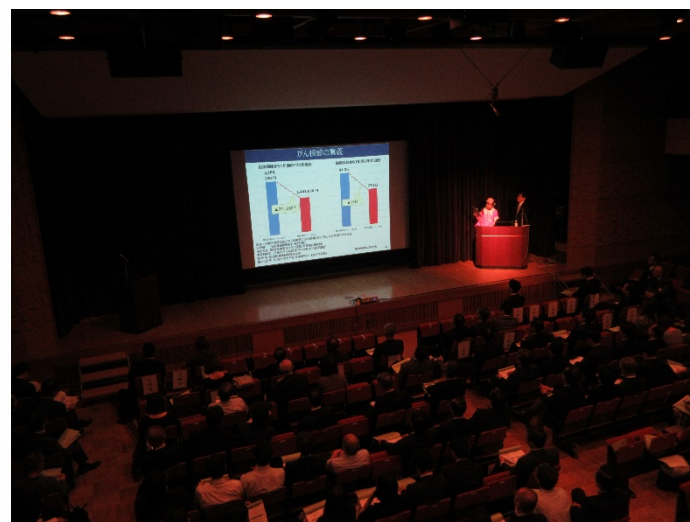
新型コロナウイルスへの対応で、2020年度の
保険者機能推進全国大会は中止いたしました。

第8回全国大会(2019年11月11日)の概要 「保険者機能のさらなる発揮・進化に向けて」

2019年11月11日、第8回保険者機能推進全国大会を開催いたしました。
今回は「保険者機能のさらなる発揮・進化に向けてこれからの保険者経営～その戦略とイノベーション～」と題して、経済産業省産業構造審議会 2050経済社会構造部会委員 山本雄士先生に基調講演をいただきました。
第2部として、健診事業のあり方研究会、ポピュレーションアプローチ研究会の2つの研究会による成果発表を行いました。



山本雄士先生の基調講演



研究会による成果発表の様様

ご案内

会 費

被保険者数	正会員 年会費
5千人未満	11万円
5千人以上1万人未満	13万円
1万人以上2万人未満	15万円
2万人以上5万人未満	17万円
5万人以上	19万円

※年度（4月から翌年3月）途中の入会の場合は、会費は月割計算（千円未満切捨）した金額になります。
※健康保険組合の都道府県連合会およびその下部組織、ならびに健康保険組合以外の保険者および団体等については、準会員として入会することができます。準会員の会費は被保険者数により3万円～11万円、被保険者0人は11万円です。

アクセス

会員一覧



IHグループ、アクサ生命、味の素、azbilグループ、アフ
ラック、イオン、石塚硝子、エーザイ、SMBC日興証券グ
ループ、SGホールディングスグループ、FR、MSD、オー
トボックス、小田急グループ、オリンパス、花王、カシオ、
協和キリン、キリンビール、近畿日本ツーリスト、グラク
ソ・スミスクライン、栗田、KDDI、国際興業、コスモス
イニシアグループ、コニカミノルタ、小松製作所、鷺宮、
サッポロビール、C&Rグループ、シーイーシー、CNCグ
ループ、ジェイアールグループ、JNC、資生堂、ジャック
ス、ジャパンディスプレイ、住友不動産販売、全日本空輸、
ソニー、第一三共グループ、大正製薬、太陽生命、太陽日
酸、大和証券グループ、武田薬品、TDK、ディスコ、デン
ソー、東京海上日動、東京ガス、東芝、TOTO、トッパ
ングループ、トピー、豊田合成、豊田通商、トラスコ中山、
トランス・コスモス、ナイガイ、ニコン、ニチレイ、日産
自動車、日新製糖、日本アイ・ビー・エム、日本航空、
日本コロムビア、日本事務器、日本製鉄、日本ゼオン、
日本ヒューレット・パッカード、日本マクドナルド、日本郵
船、日本旅行、ノバルティス、野村證券、パイオニア、
博報堂、パナソニック、阪急阪神、BIJ、PHC、日立、
ファイザー、フジクラ、富士通、富士フイルムグループ、
ブリヂストン、プレス工業、ポーラ・オルビスグループ、
ボッシュ、丸井、三越伊勢丹、三菱、三菱ケミカル、三菱
電機、三菱UFJ証券グループ、三菱UFJニコス、明治安田
生命、明電舎、山崎製パン、ヤマトグループ、ヤマハ、
リクルート、レンゴー、ロイヤル、ローソン、ワールド、
健康保険組合連合会京都連合会

109会員 【2021年9月1日現在】

入会を希望する、または質問のある健保様はお気軽に事務局へご連絡ください

〒101-0036 東京都千代田区神田北乗物町1 1 番地 乗物町第一ビル 4 階
電話 03-5577-5411 F A X 03-5577-5413
e-MAIL hokensha@kino-suishin.org
ホームページ <https://www.kino-suishin.org/>

Copyright (C) 一般社団法人 保険者機能を推進する会 All Rights Reserved. 無断転載禁止